

佳作

犬のいのち

愛知県 岡崎市立井田小学校二年 原田 紗帆

犬のいのちは、どれぐらいなんだろう。人げんとはちがうのかな。

わたしは、夏休みにおばあちゃんの家に行きました。おばあちゃんは、大きな犬をかっています。ラブラドル・レトリバーという犬しゅです。名前はスパロウで、みんなスツくんと呼んでいます。いつもあいにいくと、あそんでほしいとほえてそばに来てくれます。すごくかわいくてわたしもみんなもスツくんのが、大好きです。

でも、生まれてからもう十八年もたつので、だいが年をとってしまいました。おばあちゃんが、「もうおじいちゃんになっちゃったから、一人でうまくあるけなくなっちゃったよ。」

と、かなしそうに言いました。人げんというと、百さいぐらいだとみんなにおし

えてもらいました。犬は、人げんのいのちよりみじかいから、わたしは、とてもびっくりしました。ということ、スツくんは、あとすこししか生きられないのかな。

わたしは、かなしくなって、スツくんのあたまをなでながら、

「大じょうぶだよ、そばにいるからね。」
と言ってあげました。

スツくんのおおを見ると、口のまわりの毛がほとんど白くなっていました。そこは、人げんとおなじだなあと思いました。

ごはんは、のこすときもあるけど、かんしよくするときは多いです。水をすごくのみたがるので、水をそばにもってあげたり、口のまわりをタオルでふいてあげました。

トイレに行くときは、タオルでこしのところをもちあげて、前足だけでうまくあるかせます。わたしがやってみたら、すごくおもくてできませんでした。おばあちゃんはいつもやっているのです、とてもたいへんだなと思いました。

スツくんが元気だったころは、こうえんやうみにさんぽをしに行っただけ、今は行けないから、お父

さんといとこといっしょにあそびに行きました。こ
うえんで、ブランコやてっぽうをして、うみで貝が
らをひろいました。わたしが、

「よくスツクんと来ていっしょにあそんだよね。」
と言ったら、

「そうだね、楽しかったね。」
とみんなが言いました。

それから、家に帰って、貝がらをスツクんに見せ
たら、

「ワン。」
とほえました。またいつかいっしょに行けたらいい
のになあと思いました。

おばあちゃんの家から帰るときに、スツクんをお
もいっきりだきしめました。あと何回あえるのかっ
て考えたくないから、いっばいあいに来て、あそん
でだきしめたいです。